

香川県環境負荷低減事業実施計画認定者の取組概要

認定番号	氏名	市町名	経営概要	活動内容 (ha) ※ □ 内のうち、左は現状面積、右は目標面積を示す	取組内容 ①：第1号認定（土づくりと化学肥料・化学農薬使用低減の取組） ②：第2号認定（温室効果ガス排出削減の取組） ③：第3号認定（プラスチックの排出抑制等、農林水産大臣が定める取組）
079	角谷 雅臣	高松市	水稲、野菜、果樹：1.35ha	水稲、さといも、大根、人参 〔 1.25 ⇒ 2.1 〕	① 緑肥作物等のすき込みによる土づくりと、有機質肥料の施用や機械除草により、化学肥料・化学農薬を使用しない。
080	四季菜園 嶋村 耕二	高松市	水稲、麦、露地野菜、施設野菜：3.27ha	水稲、麦、露地野菜、いちご 〔 3.27 ⇒ 4.47 〕	① 緑肥作物のすき込みや堆肥施用等による土づくりと、有機質肥料の施用・土壌診断結果に基づく施肥体系の見直しや生物農薬の使用・防虫ネット利用・太陽熱養生処理等により、化学肥料・化学農薬を使用しない。
081	高松市西部地域びわ部会みどり推進チーム チーム長 湯谷 芳章	高松市	果樹：3.139ha	ビワ 〔 3.139 ⇒ 3.139 〕	① 堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料の施用や機械除草等による化学肥料・化学農薬の使用低減
082	株式会社エスレーヴ 代表取締役 津村江里子	高松市	水稲、野菜：87a	水稲、カボチャ、ニンニク、玉ねぎ等 〔 0.87 ⇒ 1.32 〕	① 堆肥の施用等による土づくりと、有機質肥料の施用や温湯種子消毒、合鴨農法、機械除草等により、化学肥料・化学農薬を使用しない。
083	長尾 文雄	高松市	野菜：62a	ピーマン、オクラ、ナス、モロヘイヤ等 〔 0.62 ⇒ 0.9 〕	① 緑肥の栽培による土づくりと、有機質肥料の施用や機械除草、太陽熱消毒等により、化学肥料・化学農薬を使用しない。
084	早瀬 賢吾	高松市	露地野菜：80a	ダイコン、オクラ、カボチャ、コマツナ 〔 0.5 ⇒ 0.7 〕	① 牛ふん堆肥などの施用による土づくりと、有機質肥料の施用や機械除草による化学肥料・化学農薬の使用低減
085	ひとみ農園 代表者 土居 利矢	高松市	露地野菜：30a	ピーマン、玉ねぎ、レタス、オクラ等 〔 0.3 ⇒ 0.4 〕	① 堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料の使用や機械除草等により、化学肥料や化学農薬を使用しない。 ③ 生分解性マルチフィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制
086	松熊工業株式会社 パイナップル農園 松熊 幹子	高松市	果樹：15a	桑 〔 0.15 ⇒ 0.2 〕	① 牛ふん堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料の施用や機械除草等により、化学肥料・化学農薬を使用しない。
087	有限会社宮脇農園 代表取締役 宮脇 正美	高松市	水稲、野菜：170a	水稲、トマト 〔 1.06 ⇒ 1.21 〕	① 堆肥等の施用による土づくりと、有機質肥料の施用や生物農薬の使用等による化学肥料・化学農薬の使用低減 〔水稲は有機JAS認証取得〕
088	ワラビ株式会社 代表取締役社長 富田 幸雄	高松市	露地野菜、果樹：1.3ha	にんにく、ほうれん草、そら豆等 〔 1.02 ⇒ 1.72 〕	① 有機物のすき込みによる土づくりと、有機質肥料の施用や機械除草、マルチの使用により、化学肥料・化学農薬を使用しない。
089	大西 貴久	丸亀市	水稲、露地野菜：7.95ha	ブロッコリー、青ネギ、スイートコーン、オクラ 〔 5.1 ⇒ 7.3 〕	③ 生分解性マルチフィルムを使用した栽培によるプラスチック資材の排出抑制
090	株式会社サンロプロス 代表取締役 矢野 秀典	丸亀市	施設野菜：26a	アスパラガス 〔 0.26 ⇒ 0.7 〕	③ プラスチックを使用しない肥料の利用によるプラスチック資材の排出抑制
091	鈴木 茂昌	丸亀市	水稲、露地野菜、施設野菜：3.15ha	ナバナ、ホウレンソウ、ブロッコリー、ナス、アスパラガス 〔 0.1 ⇒ 3 〕	① 堆肥、緑肥作物のすき込みによる土づくりと、有機質肥料の施用や機械除草、生物農薬の利用による化学肥料・化学農薬の使用低減 ③ プラスチックを使用しない肥料の利用によるプラスチック資材の排出抑制
092	株式会社竹内農場 代表取締役 竹内 一之	丸亀市	水稲、露地野菜、施設野菜：24.6ha	水稲、キャベツ 〔 0 ⇒ 13.1 〕	① 牛ふん堆肥などの施用による土づくりと、有機質肥料の施用や機械除草による化学肥料・化学農薬の使用低減
093	眞鍋 倫明	丸亀市	水稲、露地野菜、施設野菜：10.2ha	水稲、アスパラガス 〔 1 ⇒ 5.5 〕	① 堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料の施用や生物農薬の利用による化学肥料・化学農薬の使用低減 ③ プラスチックを使用しない肥料の利用によるプラスチック資材の排出抑制
094	山地 良文	丸亀市	水稲、露地野菜：1.26ha	水稲 〔 0.3 ⇒ 0.6 〕	① 堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料の施用や機械除草、アイガモの活用による化学肥料・化学農薬の使用低減

香川県環境負荷低減事業実施計画認定者の取組概要

認定番号	氏名	市町名	経営概要	活動内容 (ha) ※ □ 内のうち、左は現状面積、右は目標面積を示す	取組内容
					①：第1号認定（土づくりと化学肥料・化学農薬使用低減の取組） ②：第2号認定（温室効果ガス排出削減の取組） ③：第3号認定（プラスチックの排出抑制等、農林水産大臣が定める取組）
095	株式会社横田農園 代表取締役 横田 幸司	丸亀市	水稲、麦、露地野菜：31ha	水稲、麦、ブロッコリー (15 ⇒ 28)	③ プラスチックを使用しない肥料の利用と、生分解性マルチフィルムを使用した栽培によるプラスチック資材の排出抑制
096	矢野 和幸	坂出市	水稲：3.95ha	水稲 (3.95 ⇒ 5.6)	③ プラスチックを使用しない肥料の利用によるプラスチック資材の排出抑制
097	近藤 剛司	善通寺市	水稲、露地野菜：5.52ha	水稲、スイートコーン、レタス、ズッキーニ、オクラ (2.4 ⇒ 3.4)	③ プラスチックを使用しない肥料の利用と、生分解性マルチフィルムを使用した栽培によるプラスチック資材の排出抑制
098	株式会社平尾農園 代表取締役 平尾宗男	善通寺市	水稲、施設野菜：1.31ha	水稲、トマト、ミニトマト (0.84 ⇒ 1.31)	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減 ヒートポンプや循環扇等の設置により燃油使用量を低減し、温室効果ガスの排出量を削減 ③ 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制
099	藤田 諭史・藤田 真樹	善通寺市	水稲、麦、露地野菜：6.68ha	水稲、たまねぎ、スイートコーン、オクラ (0.28 ⇒ 2.45)	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わら・麦わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減 ③ 生分解性マルチフィルムを使用した栽培によるプラスチック資材の排出抑制
100	株式会社三原農園 代表取締役 三原 英路	善通寺市	水稲、露地野菜：10.74ha	ブロッコリー、ネギ、スイートコーン、サニーレタス、オクラ (2.05 ⇒ 3.4)	① 堆肥・緑肥作物の施用による土づくりと、有機質肥料の施用や土壌分析による適正な施肥、生物農薬の使用による化学肥料・化学農薬の使用低減 ③ 生分解性マルチフィルムを使用した栽培によるプラスチック資材の排出抑制
101	荒木 昭憲	観音寺市	水稲、露地野菜：2.55ha	水稲、人参、ブロッコリー、大根等 (2.55 ⇒ 2.89)	① 緑肥のすき込み等による土づくりと、有機質肥料の施用や機械除草、太陽熱消毒により、化学肥料や化学農薬を使用しない。
102	齋藤 照久	観音寺市	水稲、麦、露地野菜：21.9ha、採卵鶏：200羽	水稲 (0 ⇒ 10)	② 水稲栽培における中干期間の延長、麦わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減
103	福田 昌佳	観音寺市	水稲、露地野菜、施設野菜：41a	水稲 (0 ⇒ 0.17)	① 緑肥作物のすき込みによる土づくりと、有機質肥料や機械除草による化学肥料・化学農薬の使用低減
104	家根 一郎	さぬき市	水稲：0.7ha	水稲 (0.7 ⇒ 0.7)	① 牛ふん堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料や生物農薬の利用による化学肥料・化学農薬の使用低減
105	岡田 繁一	さぬき市	水稲：0.7ha	水稲 (0.25 ⇒ 0.4)	① 牛ふん堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料や生物農薬の利用による化学肥料・化学農薬の使用低減
106	岸下 甫	さぬき市	水稲、野菜：0.89ha	水稲 (0.85 ⇒ 0.85)	① 牛ふん堆肥の施用による土づくりと、肥効調節型肥料や生物農薬の利用による化学肥料・化学農薬の使用低減
107	木村 浩司	さぬき市	水稲：0.37ha	水稲 (0.37 ⇒ 0.37)	① 牛ふん堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料や生物農薬の利用による化学肥料・化学農薬の使用低減
108	株式会社さぬきの農 代表取締役 梶原 大介	さぬき市	水稲、麦、露地野菜：35ha	水稲 (3.7 ⇒ 12)	① 牛ふん堆肥の施用による土づくりと、肥効調節型肥料や生物農薬の利用による化学肥料・化学農薬の使用低減
109	農事組合法人天王 代表理事 多田則明	さぬき市	水稲、麦：36.96ha	水稲 (0 ⇒ 25)	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わら・麦わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減

香川県環境負荷低減事業実施計画認定者の取組概要

認定番号	氏名	市町名	経営概要	活動内容 (ha) ※ □ 内のうち、左は現状面積、右は目標面積を示す	取組内容 ①：第1号認定（土づくりと化学肥料・化学農薬使用低減の取組） ②：第2号認定（温室効果ガス排出削減の取組） ③：第3号認定（プラスチックの排出抑制等、農林水産大臣が定める取組）
110	長谷 真里	さぬき市	果樹、露地野菜：2.2ha	ブドウ（ハウス）〔 0.5 ⇒ 0.8 〕	③ 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制
111	株式会社農業工房かべっこ 代表取締役 六車孝雄	さぬき市	水稲、麦、飼料作物：35ha	水稲〔 0 ⇒ 20 〕	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減
112	坂東 和之	さぬき市	水稲：0.7ha	水稲〔 0.7 ⇒ 0.7 〕	① 牛ふん堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料や生物農薬の利用による化学肥料・化学農薬の使用低減
113	藤井 忠	さぬき市	水稲、露地野菜：4.6ha	水稲〔 3 ⇒ 4 〕	① 牛ふん堆肥の施用による土づくりと、肥効調節型肥料や生物農薬の利用による化学肥料・化学農薬の使用低減
114	高原 雄一	東かがわ市	水稲、麦、露地野菜、特用作物：13.12ha	水稲〔 0 ⇒ 5.9 〕	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減
115	片木 唯雄	三豊市	水稲：1.1ha	水稲〔 1.1 ⇒ 1.1 〕	① 堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料や機械除草による化学肥料・化学農薬の使用低減
116	金山 誠司	三豊市	露地野菜：98a	ブロッコリー〔 0.6 ⇒ 0.7 〕	① 牛ふん堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料や機械除草による化学肥料・化学農薬の使用低減
117	白川 剛	三豊市	野菜：1.5ha	ブロッコリー、レタス、きゅうり、スイートコーン〔 0 ⇒ 0.9 〕	③ 生分解性マルチフィルムを使用した栽培によるプラスチック資材の排出抑制
118	竹内 武	三豊市	水稲：20a	水稲〔 0.2 ⇒ 0.2 〕	① 堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料や機械除草による化学肥料・化学農薬の使用低減
119	近井 和浩	三豊市	水稲：3ha	水稲〔 1 ⇒ 3 〕	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減
120	山南営農組合 組合長 阿部 泰人	三木町	水稲等：13.1ha	水稲〔 1.3 ⇒ 1.4 〕	① 稲わらすき込みによる土づくりと、有機質肥料や生物農薬の利用による化学肥料・化学農薬の使用低減
121	農事組合法人チーム虹 代表理事 阿部 泰人	三木町	露地野菜：43a	キャベツ、ブロッコリー、タマネギ、ニンニク〔 0.33 ⇒ 0.36 〕	① 牛ふん堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料や機械除草等により化学肥料・化学農薬の使用削減
122	堀家 孝美	三木町	水稲：20a	水稲〔 0.2 ⇒ 0.3 〕	① 稲わら・もみ殻のすき込み等による土づくりと、有機質肥料や温湯種子消毒、機械除草により化学肥料・化学農薬を使用しない。
123	溝渕 裕子	三木町	水稲、露地野菜：1.56ha	水稲〔 1.31 ⇒ 1.6 〕	① 稲わら・もみ殻のすき込み等による土づくりと、有機質肥料や温湯種子消毒、機械除草により化学肥料・化学農薬を使用しない。
124	稲木 健造	綾川町	水稲、特用作物：1.5ha	水稲〔 0.35 ⇒ 0.6 〕	① 牛ふん堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料や温湯種子消毒、機械除草による化学肥料・化学農薬の使用低減
125	有限会社木下鶏園 代表取締役 木下 和彦	綾川町	採卵鶏：36,000羽 果樹、水稲：2ha	採卵鶏 36,000羽〔 - ⇒ - 〕	② 家畜排せつ物の堆肥化技術の向上による温室効果ガスの排出量の削減

香川県環境負荷低減事業実施計画認定者の取組概要

認定番号	氏名	市町名	経営概要	活動内容 (ha) ※ □ 内のうち、左は現状面積、右は目標面積を示す	取組内容 ①：第1号認定（土づくりと化学肥料・化学農薬使用低減の取組） ②：第2号認定（温室効果ガス排出削減の取組） ③：第3号認定（プラスチックの排出抑制等、農林水産大臣が定める取組）
126	須田 達哉	綾川町	施設野菜、露地野菜：30a	アスパラガス、イチゴ、ブドウ [0.05 ⇒ 0.45]	③ 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制
127	林田 知広	綾川町	露地野菜：340a	サニーレタス、白菜、春菊等 [2.7 ⇒ 2.7]	① 有機物のすき込みによる土づくりと、有機質肥料の施用や機械除草による化学肥料・化学農薬の使用低減 ③ 生分解性マルチフィルムを使用した栽培によるプラスチック資材の排出抑制
128	まつもと農園 松本稔	綾川町	水稲、施設野菜、露地野菜：20.03ha	水稲、キュウリ、イチゴ、青ネギ [1.98 ⇒ 7.58]	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減 ③ 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制 生分解性マルチフィルムを使用した栽培によるプラスチック資材の排出抑制
129	農業生産法人 有限会社グリーンフィールド 代表取締役社長 藤本浩二	綾川町	水稲、小麦、露地野菜、施設野菜：47ha	水稲、小麦、アスパラガス [24.12 ⇒ 49.62]	② 水稲・小麦栽培における中干期間の延長、稲わら・麦わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減 ③ 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制
130	森井 幹夫	琴平町	露地野菜、水稲：3.5ha	ニンニク [0 ⇒ 0.6]	③ 生分解性マルチフィルムを使用した栽培によるプラスチック資材の排出抑制
131	和田 忠	琴平町	露地野菜、施設野菜：15a	ミニトマト [0.05 ⇒ 0.05]	③ 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制
132	亀井 陽介	多度津町	施設野菜：19a	ミニトマト [0.19 ⇒ 0.19]	③ 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制
133	荒野 茂	まんのう町	施設野菜：14a	ミニトマト [0.14 ⇒ 0.14]	③ 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制
134	和泉 正浩	まんのう町	水稲（主食用、飼料用）、施設野菜：2.13ha	水稲、ミニトマト、チマサンチュ [0.26 ⇒ 1.26]	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減 ③ 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制
135	角田 憲治	まんのう町	施設野菜、露地野菜：20a	ミニトマト [0.11 ⇒ 0.11]	③ 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制
136	葛原 仁	まんのう町	施設野菜：23a	ミニトマト、イチゴ [0.23 ⇒ 0.36]	③ 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制
137	黒木 康弘	まんのう町	水稲、露地野菜：1.5ha	ジャガイモ、カボチャ、水稲 [1.14 ⇒ 1.3]	① 緑肥作物等のすき込みによる土づくりと、有機質肥料の使用や機械除草、太陽熱消毒等により化学肥料や化学農薬を使用しない
138	林 一典	まんのう町	水稲、施設野菜、露地野菜：76a	水稲、ミニトマト [0.06 ⇒ 0.46]	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減 ③ 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制
139	松良 耕治	まんのう町	水稲、麦、果樹、施設野菜：3.36ha	水稲、ブドウ、イチゴ [3.36 ⇒ 5.16]	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減 ③ 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制
140	まんのう「そば生産振興会」会長 高尾 幸男	まんのう町	特用作物：5ha	そば [5 ⇒ 5]	① 緑肥のすき込みによる土づくりと、有機質肥料の使用や機械除草により化学肥料や化学農薬を使用しない